



● 今月のご紹介者

株式会社カナツ加工 代表取締役社長 金津 智俊 氏

『超二流 ～天才に勝つ一芸の究め方～』

著 / 野村克也 出版社 / ポプラ新書



[概要]

野球評論家、野村克也の真骨頂、「超二流」論。
 全ての人は何らかの可能性を持っている。一流は無理でも「超二流」にはなれる——。
 人は誰も「強み」や「一芸」を持っている。その「才能」を眠らせたままにすることなく解放させることができた「超二流」は、ときに天才や一流にも勝つことができる。
 潜在能力を秘めた「凡人」だからこそ発揮できる最強の「洞察力」とは。ノムさんの原点「選択と集中」の極意！

Q1：この本を手にとられたきっかけについて

2020年2月11日に著者の野村氏（享年84歳）が逝去されてから数日間、テレビ報道はこのニュースでもちきりでした。

野球監督としての現役時代はただの古だぬきの変なおじさんだと思っていましたが、テレビのコメンテーターの野村氏への数々の賛辞を耳にして、一挙に同氏への興味がわき、この本を手に取りました。

Q2：この本をお薦めしたい理由について

「企業は人なり」とよく言われますが、野村氏は常に野球を通じて、人を育ててきた方だと感じました。同氏の残した名言の中の一つで私が感銘を受けたのが、「長嶋、王はひまわり、野村克也は月見草」。現役時代は、長嶋氏よりもいい成績を残しているのに、人気の面では常に2番手。そこで野村氏が考えたことが、1番にはなれないけれど、2番手、それも「超2番手」を目指すことでした。一流の才能がなくても、凡人だからこそ

すべきこと、伸ばせる能力がある。その極意で選手としてだけでなく、監督としても数々の選手を育て上げました。実際に、今の12チームあるプロ野球の監督の半数が、野村監督の教え子たちです。

人（野球選手）、組織（チーム）を育て、伸ばす仕組み・考え方は、企業運営にも共通する部分は多いと思います。

Q3：どういった方にお薦めしたいですか

企業の経営者、経営に携わる幹部職員、幹部を支えている社員の方々にお薦めします。

カナツ加工

株式会社 カナツ加工

本社：八尾市北木の本2丁目3番地
 資本金：1,000万円
 設立：平成2年9月1日
 事業内容：軟包材のスリット加工、製袋加工